



◇ 令和8年 年頭ご挨拶 ◇

年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
旧年中は、本森林組合の業務運営に特段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、日本を取り巻く環境は、ウクライナ情勢など不透明な国際情勢が続いており、急激な円安・物価高騰など国民生活にも大きな影響を及ぼしています。また、昨年も全国各地で台風や集中豪雨などによる災害の発生や大規模な山林火災も発生しました。

このような中、森林・林業界においては、森林環境税を活用した事業が進められており、本組合では亀山市、鈴鹿市から委託を受け、意向調査、境界明確化、森林整備を進めています。地域林業に有効に活用するためにも、引き続き両市と連携しながら森林所有者の森林整備が進むよう取り組みを進めてまいります。

また、国ではスギ花粉症対策として、利用可能となったスギの人工林を伐採し、少花粉スギ等の苗を植栽することで、花粉の少ない森林への転換を推進しています。亀山市、鈴鹿市はこの対策の重点区域に

指定されており、本組合でも今年度にこの事業に取り組んでいます。本組合管内で利用可能なスギ人工林が多くあることを踏まえ、引き続き花粉発生源対策の取組を積極的に進めていきたいと考えています。

さらに、今年度から亀山市、鈴鹿市の委託を受け、両市の小中学校で授業の一環として森林教育を行っています。子供たちに森林の大切さや木材に触れてもらえる機会として、大変大きな意義があると考えており、継続的に実施されるよう期待しているところです。

今後も、組合員の皆さまの森林の整備・保全に努めるとともに、地域の森林・林業の発展に寄与できるよう役職員一丸となって精進してまいりますので、一層のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

結びに、本年が皆さまにとって幸多き一年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

代表理事組合長 尾崎 重徳
副組合長理事 大萱 宗靖
役職員一同

森林講座を 推進しています

当組合では「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」の一環で、本年度より亀山市・鈴鹿市からの委託を受けて、公立小中学校において森林講座を実施しています。

これは、次世代を担う子どもたちが森林のはたらきや林業について学び、地域の森林が私たちの暮らしと深く関わっていることを認識し、森林保全の大切さや木が私たちの生活の中で身近に利用されているなどについて理解を深め、森林と人が共生する社会を実現することを目的としています。

講座の中で子供たちに「森林を手入れすることは土砂災害や地球温暖化防止などにつながる」という話をする、真剣に聞き入っています。また、適切な時期に間伐を行うことにより光合成が活発になり、より多くの二酸化炭素を吸収してきれいな空気を作ることや、切った木を利用することで自然と共存することになるなど説明しています。

今後も引き続き、小中学校等への森林教育を積極的に推進し、森林・林業の普及に努めてまいります。

10/17

昼生小学校



10/24

川崎小学校



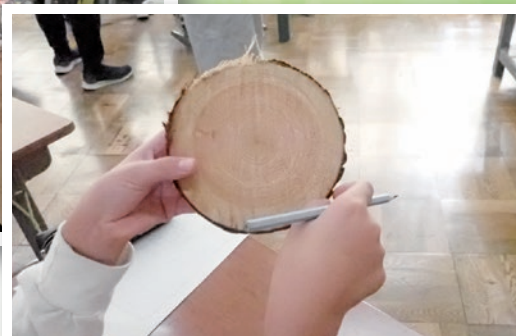
10/28

白川小学校



10/30

野登小学校



11/18

鼓ヶ浦小学校



キャップストーン研修を 実施しました



京都府立林業大学校で林業を学ぶ2年生を1名、キャップストーン研修ということで1ヶ月間受け入れて、実際の林業現場で業務体験をしていただきました。

現場でデジタルコンパスによる森林測量・調査や、チェーンソーによる間伐作業を体験してもらいました。

この研修で体験したことや身につけた知識などを十分に生かしてもらって、これから林業界で私たちとともに活躍してくれることを期待しています。

※【キャップストーン研修】より実践的な能力の養成と、実社会への適応力の向上のために行われる研修のこと



花粉症発生源対策事業に 取り組んでいます



現在、国民の4割が罹患していると言われるスギ花粉症への対策として、政府は、10年後にスギ人工林を約2割減らすことを目指して、スギ人工林の伐採及び花粉の少ない苗木等への植替えの加速化を進めています。これについてはスギ人工林を重点的に伐採して植替えを実施するための「スギ人工林伐採重点区域」が設定されており、当組合管内も区域の対象となっています。

当組合も、本年度から花粉症発生源対策事業に取り組み、花粉の少ない森林への転換の促進に努めています。





第21回

亀山市植樹祭



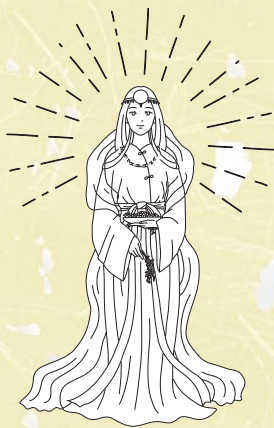
11月30日、亀山市両尾町の市立野登小学校で、「第21回亀山市植樹祭」を実施しました。県緑化推進協会の「緑の募金交付事業」の一環として組合が出席しました。

同校児童ら関係者計約50人が参加し、ソメイヨシノ3本とボタンザクラ2本、ミツマタ30本を校庭に植樹しました。



12月7日は山の神行事の日

山の神 行事とは？



山の神行事は全国的に広く分布し、この地域では年に一回、または二回行われてきました。

山の神は女性神として信仰されることもあり、山を守り、山仕事をするものを守護する神とされますが、農業とも関わり、春の1月(あるいは2月)に山から田へ降りてきて、稲の生育を見守り、刈り入れが済んだ12月に山へ戻っていくという伝承もある。

村や講ごとに祠・石塔などを山の神として祀っています。

「山の神の日に山へ入ってはいけない」という禁忌が広く伝わっています。

12月7日、山の神の日として
川俣神社にてご祈祷をして
もらいました。→



しいたけ・なめこ・ひらたけ(種駒)販売中



販売は2月末頃まで。(在庫がなくなり次第終了となります)

しいたけ		なめこ		ひらたけ	
1,000 駒	¥5,400 (税込)	1,000 駒	¥5,400 (税込)	1,000 駒	¥5,400 (税込)
500 駒	¥3,000 (税込)	500 駒	¥3,000 (税込)	500 駒	¥3,000 (税込)

にく丸

森290号/秋春出

発生温度範囲7~20℃

全国的に最も多く使用されている品種であり、乾・生両方で大活躍する品種です。発生は採種翌年の秋からピークを迎え、3才までで一代収量のはほとんどが発生し、非常に効率の良い品種と言えます。乾シイタケとしては「どんこ」「こうこ」を中心に、魚腥の強い茶花どんこが採れます。生シイタケとしては9~11月にかけて大形でボリューム感のあるものが発生します。この品種は散水での発生が容易なため、発生から収量に左右されにくく、発生操作も大幅に省力化できます。

▲大形の生椎茸

採種翌年(2年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
採種翌々年(3年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8

家庭での栽培も容易ななめこ

なめこ(原木栽培用)種駒

1号(晩秋種) 9 10 11 12 1
2号(中生種) 9 10 11 12 1
3号(早生種) 9 10 11 12 1

菌床栽培用のなめこオガ菌も取り揃えています

希少価値の高い話題のひらたけ

ひらたけ(原木栽培用)オガ菌 39号早生種

■きのこの形が良く、収量が極めて多い。
■施設周年用及び短木栽培に利用。

ひらたけ(原木栽培用)種駒

■秋から春にかけて自然栽培に適した品種。
■きのこの柄が充実し、収量が多い。
■発生温度範囲10~17℃

草刈機替刃を販売しています

一番人気は
マジカルゾーン!

No.1



マジカル空間(ゾーン)

一番人気の長持ち
埋込型チップソー(小)
230×36P
扱いやすい300g

¥1,100 (税込)

No.1



マジカル空間(ゾーン)

一番人気の長持ち
埋込型チップソー(中)
255×40P
しっかり刈れる360g

¥1,100 (税込)



ブルーカッター

青い巴刃
田んぼの草刈に最適
255×1.4m/m×8枚刃
460g

¥810 (税込)



ササ刈用 替刃

ササ刈り用の替刃
255×1.05m/m
400g

¥1,000 (税込)



草刈用カッター(穴なし)

草刈用替刃大きめサイズ
穴なしタイプ
305×1.25m/m×8枚刃
670g

¥1,400 (税込)



草刈用カッター(穴付き)

草刈用替刃大きめサイズ
穴付きタイプ
305×1.25m/m×8枚刃
550g

¥1,600 (税込)

鈴鹿森林組合

〒519-1129 三重県亀山市加太板屋 4622-1
TEL 0595-98-0010 FAX 0595-98-0019

